

令和3年度佐渡市博物館・資料館運営事業 事業計画(案)

1. 博物館・資料館の展示構成と特別展・企画展

【佐渡博物館】

<展示構成>

常設展示室:2階で自然・考古・歴史・民俗展示室で行っており、佐渡3億年の自然・歴史・文化等をまとめて紹介。

美術・工芸展示室:無名異焼・蠟型鑄金などの伝統工芸作品や佐渡出身作家の作品などの展示を行う。また、特別展等の会場となることもある。

1階展示室:美術・工芸展示や企画展の会場として利用。

ホール:佐渡民謡の紹介DVD上映、佐渡ジオパーク情報コーナー、クジラ化石や佐渡の生物展示がある。

中庭:ロックガーデン、国登録有形文化財となっている旧浅島家住宅主屋・旧土屋家住宅土蔵、弥生時代の竪穴住居と高床式倉庫(復元)がある。

<特別展・企画展>

特別展「恩田耕作・酒川哲歩二人展」

開催期間:令和3年7月～10月

佐渡を代表する画家恩田耕作氏と佐渡南部地域を中心に活躍した酒川哲保氏の作品展。両氏とも京都で絵を学び佐渡に帰郷後、他業を勤めながら作品制作にはげみ活躍した作家である。酒川氏の作品を公の場で拝見する機会が少ないことから、両氏の作品を一堂に会し、それぞれの魅力に触れてもらう機会にしたい。

企画展「佐渡島 大化石展」

開催期間:令和3年3月～5月

佐渡産化石の展示と解説を行う企画展。佐渡の地質学研究に偉大なる功績を遺され、2019年、2020年に亡くなられた小林巖雄先生、島津光夫先生の研究、実績の紹介も行う。小中学生の児童に化石や地質学に興味を持ってもらう機会としたい。会期中は中学生以下の入館料を無料とする。

企画展「佐渡と名のつく生きもの展(仮)」

開催期間:令和3年6月～7月

企画展「自由研究展(仮)」

開催期間:令和3年7月～8月

夏休み期間中のこども達向け企画展。1階企画展示室の4分の1を使い、自由研究で賞を取

った過去の子ども達の研究内容の紹介や、学芸員による研究テーマの紹介など自由研究の助けになる企画としたい。展示室奥のスペースでは、会期中のワークショップで使用するワークスペースとしたい。

企画展「結びの文化展」

開催期間: 令和3年9月～10月

古来より人の生活に密接に関わってきた「結び」についての企画展。そうした結びの歴史や文化、風俗など現代でも身近にある結びについて紹介する。普段何気なく行っている「結ぶ」という行為のルーツに迫り、身近な民俗に興味や関心を持ってもらう機会としたい。

企画展「順徳上皇配流800年展(仮)」

開催期間: 令和3年10月～12月

順徳院が佐渡配流になって800年の節目を迎えるため、順徳上皇について紹介する企画展。佐渡島内各所に順徳院の足跡が今もなお遺り、多くの人に護られてきた。また各地に残る伝説が今日まで伝えられている。今企画展では今も残る伝説と現在の様子を写真パネルにし、現状把握と順徳院の足跡を振り返る機会としたい。

企画展「年間行事展(仮)」

開催期間: 令和4年1月～3月

正月、節分、雛祭の年間行事についての展示を行う。佐渡市内の年間行事について、地域ごとの風習を取り上げる企画展。1月から3月の期間は日本において古くからの行事、風習が残る時期であるため、それらの時期について紹介をする。各地域から資料の借用や聞き取り調査を行い、展示する。現在では行われることが少なくなった行事等についても関心を深めてもらう機会としたい。

常設展「佐渡の美術・工芸」 開催期間: 随時

佐渡ゆかりの人物の作品を展示。会場には作者の略歴を記した配布資料を置き、作品展示だけでなく作家の紹介も行う。

常設展「佐渡の歴史・文化」 開催期間: 随時

佐渡の発生から近世までの歴史と、佐渡で発展した文化についての展示を行っている。

【両津郷土博物館】

<展示構成>

常設展示は第1～第3展示室で構成されており、それぞれ「海」、「くらしと木」、「祭」をテーマとしている。いずれの展示室も民俗資料を中心に展示。

【相川郷土博物館】

<展示構成>

鉾山に関係した資料、相川地区出土の考古資料、遊女関連資料、昭和10年代に外務大臣を務めた有田八郎氏の資料を展示している。

また、体験用の水上輪を設置しており、鉾山労働の厳しさと当時の技術を体感できる。

<特別展・企画展>

企画展「相川郷土博物館収蔵品展～相川ゆかりの人物～」

開催期間：通年

相川郷土博物館が収蔵している相川ゆかりの人物の資料の展示。主な展示品は、益田孝「屏風」、村田文三「立浪会紋入浴衣」、有田八郎「ボロのちゃんちゃんこ」など。

【相川技能伝承展示館】

<展示構成>

展示室で島内の窯元・裂織愛好者の作品を展示している。また、体験メニューにはないが、文弥人形も展示。裂織実習室は自由に入出りでき、見学できるようになっている。

【史跡佐渡奉行所跡】

<展示構成>

当時の建設技術を使って復原した建物「御役所」と、ガイダンス施設「勝場(せりば)」からなる施設。御役所内はガイド職員が案内している。勝場は発掘調査で出土した遺物や絵巻物の展示や、実際に石磨(いしうす)を回す・ねこ流しを行う体験ができる。

施設の活用を図るため、地域イベントである「佐渡鈍翁茶会」「佐渡國相川ひなまつり・お茶会」「宵乃舞」等の会場として開放することがある。

【佐渡国小木民俗博物館】

<展示構成>

本館：「海運」「衣」「信仰」「陶器」をテーマにした展示室のほか、昔の生活道具を展示している大型展示室がある。

新館：南佐渡の漁撈具や農具、長者ヶ平遺跡出土品などの考古資料を展示。

千石船展示室：全長23.75mの白山丸を展示しており、船内の見学もできる。

【幸丸展示館】

<展示構成>

小木一寺泊間を航海していた最後の和船「幸丸」を展示。船主であった長谷川正作氏の計画に

より、航海中にいかなる船も優先した帆型「右舷開き」を再現していたが、現在は資料保護のため帆を下ろしている。

展示館前庭には、案内解説看板や天然記念物および名勝「佐渡小木海岸」の岩石（枕状溶岩、柱状節理）、かつて湾内に使用されていた尾道産の御影石などを配し、無料入館できる身近な文化施設として利用されている。

【佐渡植物園】

＜展示構成＞

北緯38度線上に位置する佐渡島は寒暖差が少なく、自生種が極めて多いため、日本列島の縮図的な植物分布となっている。園内には自生種の代表的な植物を植栽展示しており、四季を通じて趣が感じられる。

昭和47年、佐渡植物園20周年記念として明治神宮から分けて頂いた花菖蒲は、6月下旬～7月上旬が見頃。

＜特別展・企画展＞

年4回、佐渡植物園友の会が企画し、友の会会員が丹精込めて育てた四季折々の草花の数々を展示する。また、一般出展も受付する。

企画展「春の山野草展」 開催期間：令和3年5月

企画展「ウチョウランと初夏の山野草展」 開催期間：令和3年7月

企画展「大文字草と秋の山野草展」 開催期間：令和3年10月

企画展「雪割草展」 開催期間：令和4年3月

【新穂歴史民俗資料館】

＜展示構成＞

1階：新穂出身の日本画の大家土田麦僊の作品や鬼太鼓、国指定文化財の文弥人形、県指定文化財の説経人形・のろま人形に関する資料を展示。

2階：国指定重要文化財の新穂玉作遺跡や蔵王遺跡の資料、また各種農具や生活用具といった民俗資料を展示。

＜企画展＞

新穂の歴史と民俗を考える会が中心になり、各種企画展を実施。

企画展「土屋千秋写真展」 開催期間：令和3年3月～4月

企画展「本間春広作品展」 開催期間：令和3年4月～6月

企画展「埋蔵文化財展(仮)」 開催期間：令和3年6月～8月

企画展「福寿草展(仮)」 開催期間：令和3年8月～9月

企画展「裂き織り作品展(仮)」 開催期間：令和3年10月

企画展「土屋正起トキ写真展」 開催期間:令和3年 11 月

2. 各事業

【調査・研究・収集事業】

<博物館・資料館収蔵品調査>

各所管施設の収蔵資料について整理・調査を行い、台帳やリストを作成する。

<寄贈・寄託・収集等資料>

寄贈・寄託資料の受入および収集を行う。

R3 年度には、R2 年度に中止された益田孝の遺品資料の引き取りが予定されている。

<新潟県立文書館歴史資料所在確認調査の協力>

佐渡市内の歴史資料所在確認調査に関して協力する。

【普及・啓発・学習活動支援事業】

<展示解説>

各施設に学芸員が赴き、展示解説を行う。

<クイズブック>

クイズ(冊子)を楽しみながら館内展示を見て回ることができる取組で、佐渡博物館、相川郷土博物館、佐渡国小木民俗博物館に設置されている。

<ワークショップ・イベント等>

「大人向け博物館講座」

開催時期:令和3年7月

学習意欲の高いシニア世代を対象とした講座を行う。前半は博物館内で展示解説をしたのちに、関連した現地(遺跡等)へと出向き、現地見学を行う。

「ナイトミュージアム」

開催時期:令和3年7月～9月(予定)

佐渡国小木民俗博物館において、夜に観覧を行うワークショップ。通常の電灯は使わず、懐中電灯で案内をする。その後、旧校舎教室内において「小木民話の会」から民話を朗読してもらう。

「植物園まつり」

開催時期:令和3年8月

現在、利用客の少ない植物園の周知・普及を目指した活動。各種ワークショップや解説を行い、集客を図る。

「夏の星空ワークショップ」

開催時期: 令和3年9月

機会の少ない天体観測をする機会を提供する。講師には佐渡出身で天文学に詳しい荒貴源一氏を迎えたい。

「さどはくまつり」

開催時期: 令和3年9～10月(予定)

1日を通してお子様向け(幼児～小学生)のワークショップを行い、若年層や親子連れへの博物館の周知普及を図る。

「相川郷土博物館ラストビューイング」

開催時期: 令和3年10月～12月(予定)

耐震工事及びリニューアルが予定されている相川郷土博物館の最後の内覧会を行う。解説員には相川郷土博物館の元スタッフをお招きし、思い出等を語っていただく。

「冬の鳥越文庫たんけん」

開催時期: 令和3年12月(予定)

利用者の少ない鳥越文庫の周知と普及、そして佐渡の伝統芸能について学ぶ。

「昔の遊びワークショップ」

開催時期: 令和4年1～2月

親世代、祖父母世代と子ども達との交流を図るとともに、子ども達に昔の生活に思いをはせてもらいたい。

「調理ワークショップ」

開催時期: 令和4年2月(予定)

佐渡国小木民俗博物館内「はんぎり茶屋」において、土器・古代鏡チョコレートなどを作る調理ワークショップを行う。

「ジュニア学芸員養成講座」

開催時期: 通年(期間半年を2回)

幼少期から佐渡の魅力に触れることで、地域愛を育む一環としたい。年に6回の連続講座を2回開催する。

< 出前授業・講師依頼 >

・出前授業

市内小中学校の要望に沿い、学校への出前授業を行う。

<職場体験・見学>

・職場体験・見学の受入を行う。

<博物館実習>

・博物館実習の受入れを行う。現在、金沢学院大学、新潟大学から申し込みあり。

<地域偉人マンガ製作>

・B&G 財団の補助金事業を活用し、地域偉人マンガの製作を行う。取り上げる偉人は有田八郎を予定。

<佐渡学センターマスコットキャラクター製作事業>

・佐渡出身の漫画家「赤坂アカ」氏に依頼し、佐渡学センターのマスコットキャラクターを作成いただく。また、マスコットキャラクターを活用した博物館におけるグッズ製作・販売も予定している。

【レファレンス・資料貸出等】

<レファレンス(照会対応)>

佐渡の自然・歴史・文化に対する照会に対応する。

<博物館資料の特別利用>

各施設・資料の特別利用(撮影、取材、調査研究、画像提供依頼など)に対応する。

<資料貸出>

貸出依頼のあった資料について、貸出対応を行う。

R3年度は現在、新潟県立歴史博物館と長野市立博物館に資料貸出予定。

【情報発信・刊行物発行】

<各種広報>

各施設の特別展、企画展、その他イベントや広報事項について広報を行う。

利用媒体:市報、市HP、市SNS、市内嘱託員文書、CNS放送、新聞・雑誌掲載など。

<佐渡学センター年報発行>

佐渡学センター年報を編集し、発行する。

【施設整備】

＜相川郷土博物館耐震工事基本設計＞

御料局佐渡支庁跡(相川郷土博物館)の耐震改修実施設計を実施。

R2年度には基本設計を行った。R3年度には実施設計、R4年度から工事着手の予定。それに関連しR3年度後半からは休館とする事を予定している。

＜映像体験資料導入事業＞

R3年度からR9年度までで計画されている事業。相川技能伝承展示館と相川奉行所において、映像資料を導入し、利用者の利便性を向上させる。

＜佐渡博物館常設展リニューアル事業＞

R2年度末に、4ケース(地質～弥生時代)の展示替え及びパネルの刷新を行う。R3年度以降に古墳時代以降のリニューアルを行い、R5年度までには全体のリニューアルを完了させたい。

＜その他修繕＞

・修繕が必要な各施設の危険箇所等について早期発注する

佐渡博3件、奉行所2件、新穂資1件、小木博2件、その他小修繕10件(予定)

3. 会議の開催

【佐渡市博物館協議会】

佐渡市博物館条例第10条第1項に基づき、博物館の運営及び事業、連携活動の推進又は調整その他について協議を行う。